

### 【 トマト 】コナジラミ類 \* 病害虫発生予察注意報第6号 (R7.10.1付) 発表

野外に設置した黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、平年より非常に多く推移しています(本年:24,867頭、平年:2,101頭 10月第1半旬~第4半旬の累積誘殺数)。コナジラミ類はトマトやキュウリのウイルス病を媒介します。侵入防止のために、防虫ネットの隙間や破損を確認し、必要に応じて補修してください。

### 【 野菜共通 】ハスモンヨトウ \* 病害虫発生予察注意報第5号 (R7.8.1付) 発表

西濃地域に設置したフェロモントラップへの誘殺数は平年より多く推移しており(本年3,548頭、平年:861頭 10月第1半旬~第4半旬の累積誘殺数)、イチゴでは寄生株率が高い施設が認められます。今後の気温は平年より高いと予想され、被害の拡大が懸念されますので、ほ場をよく確認し、発生が多い場合は防除を実施してください。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(11月)

作物	病害虫名	11月(予測)	発生状況及び今後の予測	10月(発生)	防除上の注意事項
イチゴ	うどんこ病	やや少	調査ほ場で発病は認められない。今後、気温の低下にともない菌の生育適温(17~20℃)となるため、発病が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>うどんこ病</b> 発生初期の防除を徹底する。</li> <li>・<b>ハダニ類</b> 薬剤は葉裏まで散布し、天敵導入前にハダニ類の密度を下げる。</li> <li>・<b>ハスモンヨトウ</b> 防虫ネットで侵入を防ぐとともに、卵塊は見つけ次第除去する</li> </ul>
	ハダニ類	やや少	調査ほ場で発生は認められない。今後、気温は平年より高いと予想され、施設内の温度が上がりやすいため、増加が予測される。	少	
	ハスモンヨトウ	多	平年より発生が多く認められるほ場がある。今後、気温は平年より高いと予想され、発生は増加すると予測される。	多	
トマト	灰色かび病	やや少	調査ほ場で発病は認められない。今後、降水量は平年並~多いと予想されるため、雨が続きと発病が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>灰色かび病</b> 曇天が続く場合は、本病をはじめ疫病などの発生にも注意し、予防的な防除を行う。</li> <li>・<b>コナジラミ類</b> 少発生でも防除を徹底する。</li> </ul>
	コナジラミ類	多	施設内の黄色粘着板への誘殺数は平年より非常に多く認められる。今後、気温は高いと予想され遅くまで施設内への飛込みが続きと予測される。	多	
キュウリ	褐斑病	やや少	調査ほ場で発病が認められる。耐病性品種では発病は少ないが、罹病性品種では発病が予測される。	やや少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>褐斑病・うどんこ病</b> 発病が認められたら発病葉を除去し、早期に防除する。</li> <li>・<b>べと病</b> 過湿時には循環扇などを利用して通風を良くし、除湿に努める。</li> <li>・<b>アザミウマ類</b> わずかでも発生が認められたら早期に防除する。</li> </ul>
	うどんこ病	並	一部の調査ほ場で発病が認められる。今後、気温の低下にともない菌の生育適温(17~20℃)となるため、発病が予測される。	やや少	
	べと病	やや少	調査ほ場で発病は認められない。今後、降水量は平年並~多いと予想され、罹病性品種では発病が予測される。	少	
	アザミウマ類	やや少	調査ほ場で発生は認められない。今後、気温は平年より高いと予想され、増加が予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃及び東濃地域

注2) 調査品種 イチゴ:濃姫、美濃娘及び紅ほっぺ トマト:りんか及びかれん キュウリ:まりん(うどんこ病・褐斑病・べと病耐病性品種)

### タバココナジラミ

本虫は、トマト黄化葉巻病(TYLCV)、トマト黄化病(ToCV)及びキュウリ退緑黄化病(CCYV)の病原ウイルスを媒介します。

本県で発生している本虫の多くは、一部の農薬に抵抗性を持った「パイオタイプQ」のため、薬剤の選択には注意し、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行ってください。

### ハスモンヨトウ

フェロモントラップへの誘殺数は、多く推移しています。

向こう1か月の気温は高いと予想されているため、本虫の発生に好適な条件がしばらく続くと考えられます。幼虫は齢期が進むと薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫の防除に重点を置いてください。

施設栽培では、防虫ネットを張って成虫の侵入を防ぐとともに、卵塊は見つけ次第除去してください。

### ○調査データ(10月調査)

		岐阜・西濃	中濃
<b>イチゴ</b>			
うどんこ病	(発生株率 %)	0 (0.0)	0 (0.0)
ハダニ類	(発生株率 %)	0 (9.9)	0 (14.4)
ハスモンヨトウ	(寄生株率 %)	2.7 (0.7)	0 (0.0)
<b>トマト</b>			
灰色かび病	(発病果率 %)	0 (0.0)	—
コナジラミ類	(誘殺頭数)	70.6 (12.8)	—
<b>キュウリ</b>			
褐斑病	(発病葉率 %)	1.0 (0.9)	0 (0.0)
うどんこ病	(発病葉率 %)	0 (0.9)	0.2 (0.1)
べと病	(発病葉率 %)	0 (0.3)	0 (1.7)
アザミウマ類	(寄生頭数/100葉)	0 (1.6)	0 (0.0)

注1) イチゴは岐阜・西濃3ほ場、中濃1ほ場、トマトは3ほ場、キュウリは岐阜・西濃2ほ場、中濃1ほ場

注2) ( )内は平年値

注3) コナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査。10月第1半旬~第4半旬の累積誘殺数

### ＝施設栽培の病害虫について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

### 東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 10月23日発表)

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため平年より高くなると予想されます。向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所  
トップページ  
二次元バーコード